

実践キャリア・アップ戦略 キャリア段位制度

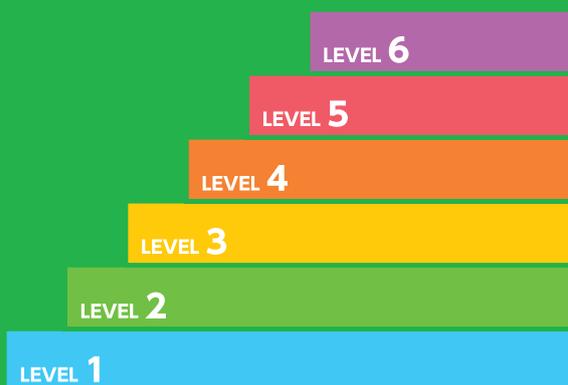
# 食の6次産業化 プロデューサー



国家戦略・  
プロフェッショナル検定

食Pro.は、「食の6次産業化」  
分野の人材の育成、  
キャリア・アップを支援する  
検定制度です。

食Pro.になろう!



**FACP**

一般社団法人

食農共創プロデューサーズ

Food & Agriculture Co-creation Producers

# 1

## 「食の6次産業化プロデューサー」(食Pro.)とは?

### ■「食の6次産業化プロデューサー」(愛称:食Pro.)とは?

- 国家戦略・プロフェッショナル検定のひとつで、食の6次産業化を担う人材の認定、育成を目的としています。
- 生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出するための職能レベルを認定します。
- 食Pro.のプロレベルは、「農林水産物を高付加価値化する事業の企画に携わり、市場開拓を先導するとともに、参画する主体間の利害関係を調整し、適正な付加価値配分を行うことができ、異業種横断でプロジェクトを組成・管理し、実績を上げることができる人材」です。

### ■食Pro.の認定・育成システム

- 食Pro.では、エントリーレベルのレベル1からトッププロのレベル6まで、6段階でレベル認定を行います。
- ご自身の現状に近いレベルから取り組み、ステップアップしていくことができます。



ここがポイント!



- 食Pro.とは食分野で新たなビジネスを創出する方のこと
- レベル認定には、エントリーレベルからプロレベルの方まで取り組み、ステップ・アップが可能

# 2

## 対象となる方とは？

### ■ 食の6次産業化で活躍したい方はどなたでも対象です！

- いま、「食」や「地域」をめぐるさまざまな課題を解決するため、「食」の付加価値の向上や生産性の向上を強固な「経営力」のもとに進める「食の6次産業化」のプロ人材の育成が急務です。
- 「プロデューサー」の言葉には、食分野において新たなビジネスを創出することにより「新しい価値を創造していく方」という意味が込められています。
- 食の6次産業化の現場で活躍中の方、これから取り組みたい方や、自らがプレイヤーとしてビジネスに取り組む方も、周りでサポートする方も、関係者のコーディネートを行う方など、どなたも対象になります。



#### 農林漁業者の方

- 自分で作った農林水産物の加工にチャレンジして収入を増やしたい！
- 新鮮な農林水産物を消費者に直接販売したい！



#### 食品産業、外食産業、流通・小売業、商工業などで働く方

- 農林漁業者とコラボレーションして地元の特産品を活用した商品・サービスづくりをしたい！



#### 行政機関で働く方、農協・漁協で働く方、コンサルタントの方、金融機関で働く方

- 地元の生産者と一緒に地域ブランドを作りたい！
- 地域おこしに貢献したい！



#### 高校・専門学校・大学などに在学中の方

- 農林漁業や食品関連の仕事に就きたい！
- 卒業したら何をしようかな？

食分野で新しい価値を創造する食Pro.をめざしませんか？

ここがポイント！



- 食の6次産業化の現場で活躍中の方、これから取り組みたい方が対象
- 農林漁業者の方、食品産業・外食産業の方、流通・小売業の方、行政機関、農協・漁協で働く方、学生の方など幅広く対象

# 3

## どんなメリットがあるの？

### 食Pro.レベル認定に取り組むことで…

今の自分を客観的にチェック

キャリア・パスの明確化

目標の具体化



- 自分の「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」がどの程度の水準にあるかを客観的にチェックできます。
- また、さらなるステップ・アップを図るためには何を理解してどのような実践的スキルを身に付けばよいのかを確認できます。
- 新たにチャレンジする方にとっては、将来のキャリア・パスや成功のモデルが明確になります。

### 食Pro.に認定されると…

自己の能力・スキルをPR

消費者や事業者の信頼性が高まる

採用チャンスの拡大



- 食Pro.として自己の能力・スキルをPRできます。
- レベル認定者は、名刺に「食Pro.」のロゴマークを入れられるほか、認定されたレベル、氏名、居住地(都道府県名)などを食Pro.のウェブサイトに掲載することができます。
- 消費者や他の事業者からの信頼性が高まることにより、「食の6次産業化」を行う上で不可欠なビジネスパートナーを見つけやすくなるなど、ビジネスの発展・拡大が期待されます。
- 法人での処遇の改善や採用チャンスの拡大が期待されます。



食の6次産業化プロデューサー



食農 六郎

Rokuroh Shokunou

〒102-0083 東京都千代田区麹町4丁目5-20 KSビル2F  
TEL 03-6272-6820 e-mail info@facp.or.jp

「食Pro.」およびそのロゴマークは商標登録されています。権利者の許諾なく使用することは一切できません。(登録5632832号,5632833号商標。)

ここがポイント!



- 今の自分が客観視でき、将来のキャリア・パスが明確になる
- 能力・スキルのPR、ビジネスパートナーの広がり、採用チャンスの拡大

# 4

## キャリア・パスは？

### ■食Pro.の人材像

- 食Pro.では、各レベルの人材像を次のとおりとしています。
- これらの人材像を参考に、自分の現在のレベル、少し頑張れば手が届くレベルから取り組みを始めます。
- ひとつずつ上のレベルを目指すことで、キャリア・アップの指標とすることができます。

#### レベルごとの人材イメージ

レベル	特徴	食の6次産業化プロデューサーの人材イメージ	
レベル6	トップ・プロフェッショナル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●組織内外で後進を育成</li> <li>●他の農林漁業者に対して「食の6次産業化」の手法・戦略を指導</li> </ul>	
レベル5	●高度な専門性・オリジナリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●商品のブランド化</li> <li>●他の法人のビジネスパートナーとして活躍</li> <li>●プロジェクトを多角化し、複数の商品や分野(観光・輸出等)に進出し、継続的な実績</li> </ul>	
レベル4	●一人前の仕事ができる段階 ●チーム内でリーダーシップ	食の6次産業化に関する経験や実績があり、事業化、マネジメント、コンサルティングなどの成果を出している	
レベル3	指示等がなくとも、一人前の仕事ができる段階	<b>「わかる」※1</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ビジネス計画書の作成</li> <li>●商品開発、マーケティング戦略</li> </ul>	<b>「できる」※1</b> 食の6次産業化に関する経験や実績がある
レベル2	一定の指示のもと、ある程度の仕事ができる段階	<b>「わかる」※1</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関連法規</li> <li>●収支計画</li> <li>●経営計画</li> </ul>	<b>「できる」</b> 大学の演習等も含み、何らかの食の6次産業化に関する経験や実績がある
レベル1	職業準備教育を受けた段階	<b>「わかる」</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●6次産業化の基礎</li> <li>●食品安全、衛生管理</li> </ul>	<b>「できる」※2</b> 実習等による経験

例えば？

- 法人化して黒字化に成功！
- プロのコンサルタントとして活躍！

例えば？

- 商品開発や直接販売を実践
- 法人や支援機関のスタッフ

例えば？

- 将来に向けて大学などで勉強中
- 道の駅への出荷、一次加工にチャレンジ

※1 レベル2、レベル3の「わかる」、レベル3の「できる」では、「事業主・法人スタッフコース」か「支援スタッフコース」を選択できます。支援スタッフコースは、コンサルタントや行政機関の方などを想定しています。  
 ※2 レベル1の「できる」は、育成プログラムの実習科目に含まれています。

ここがポイント！



- まずは、自分の現在のレベル、少し頑張れば手が届くレベルからはじめる
- ひとつずつ上のレベルを目指すことで、ステップ・アップが可能

# 5

## レベル認定を受けるには？

STEP

1

### 取り組むレベルを決め、必要な手続きを確認

- 食Pro.の人材像などから、現在の自分の想定レベル、少し頑張れば手が届くレベルを検討する。
- 取り組むレベルを決め、必要となる「わかる」「できる」のレベル申請手続きを確認する。(P.6「レベルごとの評価対象と想定レベル」を参照)



STEP

2

### 「わかる」のレベル判定を受ける

- 教育研修機関が実施する「育成プログラム」を受講する。
- 専用ウェブサイトでマイページ登録を行い、申請者ID\*を取得する。
- 教育研修機関から修了証を受け取る。
- 「わかる」レベル判定の申請受付期限は、修了証発行日から1年間です。
- マイページにログインして、「わかる」のレベル判定を申請する。(郵送書類も確認、送付する。)



STEP

3

### 「できる」のレベル判定を受ける

- 評価判定方法については、ウェブサイトに詳細な説明がありますので、必ず申請前にお読み下さい。
- 専用ウェブサイトでマイページ登録を行い、申請者ID\*を取得する。
- マイページにログインして、「できる」の申請書ファイル (MSワード) をダウンロードする。
- 申請書に必要事項を記入し、専用ウェブサイトからレベル判定を申請する。(郵送書類も確認、送付する。)
- ▶ レベル4・5では、プレゼンテーションを含む面接試験を受けていただきます。



## 食Pro.のレベル認定！

※申請者IDは、初回のみ取得が必要です。2回目以降は、同じ申請者IDで申請をしていただきますので、忘れないように注意して下さい。

# 6

## 「わかる」と「できる」のレベル判定のしくみ

### ■レベルごとの評価対象と想定レベル

レベル	わかる(知識)	できる(実践的スキル)	ポイント
レベル4・5	— (対象外)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●プロレベルを「できる」判定のみで認定</li> <li>●書類審査に加え、面接試験(1時間、うち30分プレゼンテーション)が必須</li> </ul>
レベル3	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「わかる」は専門プログラム等を想定したレベル</li> <li>●「できる」は実務について、書類審査で判定</li> </ul>
レベル2	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「わかる」は大学、農業・水産大学校を想定したレベル</li> <li>●「できる」は実務、演習等を書類審査で判定</li> </ul>
レベル1	○	— (対象外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「わかる」判定のみで認定</li> <li>●農業高校、水産高校等を想定したレベル</li> </ul>

※レベル6の評価判定方法は、検討中です。

### ■「わかる」のレベル判定を受けるには？



- 教育研修機関等が提供する「育成プログラム」を受講し、修了した上で、食農共創プロデューサーズにレベル判定を申請します。
- 「育成プログラム」は、学習内容、講義形式、時間等が基準を満たしていると認められたものです。
- ※内容等が基準を満たしていても認証されていないプログラムの受講では、レベル判定を申請できません。

### ■「できる」のレベル判定を受けるには？



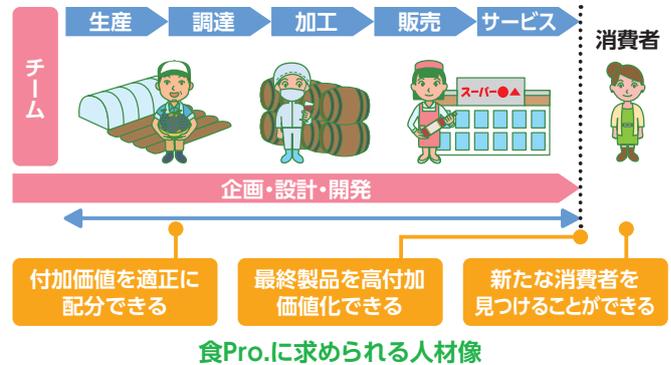
- 申請書、必要書類を整え、直接、食農共創プロデューサーズにレベル判定を申請します。
- レベル2・3では、認定審査員による書類審査によりレベル判定が行われます。
- レベル4・5では、書類審査のほかに、面接試験があります。試験時間は、1時間で、うち30分はプレゼンテーションを行います。
- フィードバックレポートには、各評価項目ごとの得点や審査員からのコメントが記載されています。

# 7

## 「わかる」と「できる」の評価

### ■ 評価基準の考え方

●食Pro.のプロレベルは、「**農林水産物を高付加価値化する事業の企画に携わり、市場開拓を先導するとともに、**参画する主体間の利害関係を調整し、**適正な付加価値配分**を行うことができ、**異業種横断でプロジェクトを組成・管理し、実績を上げることができる人材**」です。



- こうしたプロレベル(レベル4~6)の人材へとステップアップするひとつの道筋として、レベル1~3の評価基準を整理し、取り組みやすい順序を示しています。
- ただし、道筋はひとつではありませんので、すでにプロレベルのスキルをお持ちの方には、レベル4・5から取り組んでいただくことも可能です。

### ■ 「わかる」の評価基準

- 「わかる」の評価は、育成プログラムの受講・修了の確認により行います。
- 各レベル・コースの「育成プログラム」で受講する必要がある科目、必要時間は、次のとおりです。

#### 「わかる」の育成プログラム内容

レベル	科目名	必要時間	科目名	必要時間
レベル1	6次産業化論	>0分	食品流通 (実)	>0分
	食品衛生管理(基礎)	>0分	経営及び経営分析の基礎	>0分
	農産物と水産物 (実)	>0分	経営及び経営分析の基礎(事例)	(事) >0分
	食品加工(基礎) (実)	>0分		
レベル2	6次産業化関連法規	60分	事業計画(基礎)	180分
	6次産業化事例分析 (事)	90分	財務の基礎	90分
	食品衛生管理(応用) (事)	60分	事業計画(応用) (実)	360分(実)
	農業技術と水産技術 (実)	90分	経営分析の応用 (事)	90分(実)
	食品加工(応用) (実)	60分	財務会計	90分(実)
	農業・水産業及び食品加工・流通関連法規	60分	金融制度	30分(実)
	マーケティング(基礎) (事)	30分	コーディネート手法(基礎) (実)	90分(実)
レベル3	マーケティング(応用) (事・実)	180分	事業計画(応用) (実)	360分(事)
	商品開発 (事・実)	90分	6次産業化関連制度	30分(実)
	経営戦略	90分	事業計画(診断) (事)	180分(実)
	経営戦略(事例) (事)	90分	コーディネート手法(応用) (実)	90分(実)
	経営管理 (事)	90分		

・科目名に「(事)」の表示がある科目では、事例学習、事例演習が必要  
 ・科目名に「(実)」の表示がある科目では、実習等が必要

・必要時間に「(実)」の表示がある科目は、事業主・法人スタッフコースのみ  
 ・必要時間に「(実)」の表示がある科目は、支援スタッフコースのみ

# 基準



## 「できる」の評価基準

- 「できる」の評価は、申請者が提出した申請書、および実績を示す書類をもとに行います。
- 評価指標は次のとおりで、レベル2～5すべてに共通のものです。
- 申請するレベルによって必須回答項目が異なります。レベルが高くなるにつれて必須の項目が多くなります。(必須でない項目についても回答することにより、ポイントが加算されます。)

### 「できる」の評価基準

評価基準		点数	評価指標	Lv 2	Lv 3	Lv 4・5
商品・サービスの開発	商品化・サービス化 自分たちの事業環境を見極め、顧客がつく商品開発を推進できる人材か	15点	商品の企画・設計・開発に主体的に参画できる 商品の開発にあたり自分たちの強みを活用できる 市場の規模や成長性を正確に捉えられる 最終消費者と消費・利用シーンを想定できる 競合相手に対する競争優位性について客観的に確認できる 損益分岐点を計算できる	○	○	○
	多角化等 持続的な発展のために、戦略的に事業開発を行える人材か	5点	選択しうる複数のアイデアの中から、最適なものを客観的に選択できる 商品の成功がもたらす各連携事業者の経営上のメリットについて説明できる 後続の商品開発のネタを出せる		○	○
販路開拓・プロモーション	新規販路の開拓・拡充 商品・サービスを拡販できる人材か	15点	販路の獲得手段を具体的に挙げられる 商品特性に合った販路開拓ができる サプライチェーン(商流・物流・情報流)を合理的に設計できる	○	○	○
	メディア等への情報発信 最終消費者とのコミュニケーションを構築できる人材か	5点	商品を最終消費者に認知させるための手段を具体的に挙げられる 商品を最終消費者に体験させるための手段を具体的に挙げられる 商品の評判を把握する手段を具体的に挙げられる		○	○
連携・コーディネート	生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携 バリューチェーンを支える連携体制を築き、発展させるために必要なリーダーシップ、マネジメント力、ネットワーク力を有する人材か	15点	商品のバリューチェーンを支える人的ネットワークを築ける 連携事業者の能力を活かすことができる 連携事業者間の付加価値配分を適正に行える 自らが利害関係の調整役となる 商品の売行きが伸び悩んだ場合に、協働者を鼓舞し、軌道修正できる		○	○
	地域活性化への貢献 地域貢献を志し、行動する人材か	5点	地域を活性化しようという強い意志を保持できる 商品の成功による地域への経済的な波及効果をシミュレーションできる 商品の成功による地域への非経済的な波及効果をシミュレーションできる 地域活性化のために本業とは直接関係のない活動も行える	○	○	○
その他アピールポイント 社会貢献度の高い事業を開発できる人材か		各10点 計20点	当該商品の成功により連携事業者のいずれかが新たな人材を雇用できる(した) 当該商品を通じて、便益創出・雇用創出以外の社会貢献を企図している			
事業成果 実績のある(成功体験を有する)人材か		各10点 計20点	当該商品の売上げは伸びている 当該商品により全連携事業者が利益を確保できている			○

※○印が各レベルの必須回答項目です。

判定の基準	レベル2	合計点が20点以上で必須項目すべての回答が行われていること
	レベル3	合計点が40点以上で必須項目すべての回答が行われていること
	レベル4	合計点が60点以上で必須項目すべての回答が行われていることかつ 次の評価基準もしくは評価指標の全てで満点の50%以上の得点を獲得していること
		・商品・サービスの開発(商品化・サービス化) ※7.5点/15点満点 ・販路開拓・プロモーション(新規販路の開拓・拡充) ※7.5点/15点満点 ・連携・コーディネート(生産・加工・流通の連携や一体化、異業種との連携) ※7.5点/15点満点 ・事業成果のうち「該当商品の売上げは伸びている」 ※5点/10点満点
	レベル5	レベル4の基準を満たし、かつ、合計点が80点以上であること

# 8

## レベル判定の申請方法は?

STEP  
1

「食の6次産業化プロデューサー」ウェブサイト

<http://www.6ji-biz.org/>  
にアクセス



STEP  
2

「個人レベル認定申請」をクリック

- 必要な手続き、審査手数料等を確認
- 【初回のみ】マイページ登録、申請者ID取得・パスワード設定

STEP  
3

マイページにログイン

STEP  
4

レベル認定申請を選択し、必要フォームを入力・送信

(「できる」の申請は、あらかじめ申請書をダウンロードして記入し、保存した上で行って下さい。)



STEP  
5

郵送する必要がある書類を食農共創プロデューサーズへ送付

STEP  
6

審査手数料の振込み

申請手続き完了です!

レベル4・5を申請された場合は、事務局より面接試験に関するご連絡をいたします。  
プレゼンテーションに必要な資料等をご準備ください。



# 9

## よくあるご質問



Q 「レベル判定」と「レベル認定」の違いは何ですか？

A レベル「判定」は、「わかる」で要求される知識、「できる」で要求される実践的スキルについて、それぞれレベルを満たしているかどうかの判断のことです。レベル「認定」は、そのレベルで要求されている「わかる」と「できる」のレベル判定を受けることで自動的に行われます。例えば、「食Pro.のレベル2の認定を取得しています」と言うためには、「わかる」でレベル2のレベル判定、「できる」でレベル2以上のレベル判定を受けている必要があります。(詳しくは、P6をご覧ください。)



Q 「育成プログラム」とは何ですか？

A 食の6次産業化プロデューサーに必要な「わかる(知識)」を習得するためのプログラムのことで、高校や大学などの教育機関や、民間の研修機関などが実施します。レベル1～3の「わかる」のレベル判定を受けるために受講する必要があります。食の6次産業化に関わる人材育成の基準を満たしていることを認証されたもので、内容は「わかる」の育成プログラム内容(P.7)をご覧ください。これらの内容を含むプログラムであっても教育研修機関からの申請に基づいて、審査・認証されていないものでは、「わかる」のレベル判定を受けられませんので、ご注意ください。



Q 「できる」は、どのレベルで申請すればよいですか？

A 各レベルの人材像などを参考に、挑戦するレベルを決めて申請してください。「できる」のレベル判定では、レベル2、3は書類審査、レベル4以上は書類審査に加えて面接試験が必須となります。このため、レベル4の判定を目指す方が面接の結果、レベル4の基準に達しなかった場合には、レベル2、3に判定されることがありますが、レベル2、3の判定を目指す方は面接試験を受けていないため、レベル4の判定を受けることはありません。レベル2、3では、目指すレベルとは関係なく、得点と回答項目によって、レベル2、レベル3の判定を受けることができます。レベル2の基準を満たさない場合は、レベル判定されません。



Q 長年食品産業に従事して経験も十分にありますが、例えば、レベル1を受けずにレベル2の認定を受けることはできますか？

A レベル2から挑戦をしたい場合は、「レベル1とレベル2」の育成プログラムを受講・修了し、まとめて「レベル2」の「わかる」のレベル判定を申請することができます。これに加えて、「できる」のレベル2以上の判定を受ければ、レベル2の認定を受けることができます。また、「できる」のみが審査の対象になっているレベル4では、レベル1～3を越えてレベル4からの申請ができます。



Q 食の6次産業化プロデューサーに認定されました。名刺などにロゴマークを入れたいのですが、できますか？

A ロゴマークは、レベル認定を受けた方の能力やスキルのPRのため、名刺に印刷したり、ホームページに掲載したりすることができます。レベル表示、認定された年次の記載、色など、詳細な利用ルールが決まっています。



Q 食の6次産業化プロデューサーの愛称は、なぜ「食Pro.」なのですか？

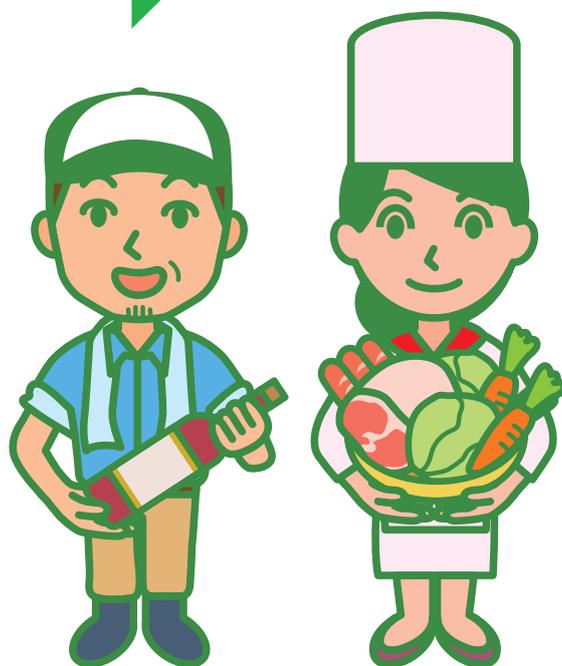
A 「食の6次産業化プロデューサー」は、1次・2次・3次の全産業をつないで、食分野での新しいビジネスを創り出す人(プロデューサー)であり、プロフェッショナルでもあります。食という日常生活に欠かせない要素である分野に携わるこの資格に、親しみを持っていただけるように名づけました。認定をされた方々にも、愛称「食Pro.」を色々な場面で活用していただきたいと思います。

レベル認定の申請は  
ホームページから随時受け付け中です。  
ご不明な点はいつでもお問い合わせください。

<http://www.6ji-biz.org/>

食プロ

検索



## お問い合わせ先

**FACP**

一般社団法人

食農共創プロデューサーズ

Food & Agriculture Co-creation Producers

一般社団法人食農共創プロデューサーズ

TEL:03-5961-8124 (代表)

E-mail:info@facp.or.jp HP <http://www.6ji-biz.org/>

〒114-0024 東京都北区西ヶ原3丁目1-12 西ヶ原創美ハイツ2階

本事業は、平成24年度から26年度まで内閣府の補助を受けて、一般社団法人食農共創プロデューサーズが実施し、当社事業として継続実施しています。

- 実践キャリア・アップ戦略は、実践的な職業能力の評価、認定制度(キャリア段位制度)によって、成長分野における人材育成を進めることにより、労働移動を促すものです。
- これまでのような「肩書き社会」ではなく、「キャリア」、「能力」がより評価される社会の実現をめざした制度です。
- ①介護プロフェッショナル、②カーボンマネジャー、③食の6次産業化プロデューサーの3分野で、実践的な職業能力に重点を置き、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価し、レベルの認定を行っています。

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています



地球環境保護のために、この冊子には再生紙と植物油インキを使用しています。

リサイクル適性<sup>Ⓐ</sup>

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。